

# ぼうえい

東海防衛だより

2024  
令和6年

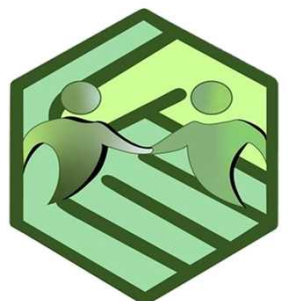
冬



笠取山分屯基地オープンベースでのUH-60Jの救難展示  
(写真提供：笠取山分屯基地)

## 目次(主な内容)

- 1 令和6年版防衛白書の概要
- 2 防衛施設の設置・運用に係る要望
- 3 陸上自衛隊の記念行事・政策広報／航空自衛隊の記念行事
- 5 日米共同統合演習／能登半島大雨に係る災害派遣活動
- 6 令和6年度の防衛力整備と予算
- 7 岐阜飛行場周辺防音事業
- 8 「愛三岐のまちから」愛知県春日井市





## 防衛白書の地方公共団体等への説明

防衛省は、防衛政策について広く国民の理解を得るため、地方協力確保事務の一つとして地方公共団体等に防衛白書の内容の説明を行っています。

東海防衛支局では、管轄する愛知、岐阜、三重の3県に所在する自衛隊地方協力本部と連携して地方公共団体等を訪問し、国家安全保障戦略等の三文書を踏まえ、増額した防衛予算を使って進めている防衛力の抜本的強化の進捗や防衛生産・技術基盤の強化、人的基盤の強化に向けた施策などについて説明を行っています。

地方公共団体等の皆様からは、防衛力の抜本的強化の必要性への理解や、厳しい状況にある自衛官募集への協力の声をいただいております。引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。



【大村秀章愛知県知事（右）】  
【前田東海防衛支局長（左）】



【10月22日 大村秀章愛知県知事（右）への説明】



【11月1日 古田肇岐阜県知事（左）への説明】

## 地域社会との調和

### 防衛施設の設置・運用に係る要望

防衛省の各種施策、自衛隊の活動を円滑かつ効果的に推進するためには、活動基盤である駐屯地、飛行場、演習場などの防衛施設の周辺地域の皆様の理解と協力が不可欠です。

令和6年8月20日、東海防衛支局は、航空自衛隊岐阜基地（岐阜県各務原市）に関連する岐阜県側の4市町（各務原市、岐阜市、岐南町、笠松町）により組織される岐阜基地周辺市町村連絡協議会から、同基地の設置・運用に伴う要望を承りました。

当日は、協議会会長の浅野健司各務原市長から前田東海防衛支局長に対し、住宅防音工事、民生安定助成事業、周辺財産の管理及び利用、テレビ放送受信料制度などに関する要望書が手交された後、各要望事項ごとに防衛省の対応を説明しました。

また、災害派遣や国民保護

などを含め、率直な意見交換も行い、相互の連携の重要性を確認しました。

当支局としては、今後も防衛施設周辺の地方公共団体や住民の皆様の意見・要望に真摯に耳を傾け、防衛施設と周辺地域の調和を図る施策を誠実に進めてまいります。



【写真左から、古田聖人笠松町長、浅野健司各務原市長（協議会会長）、前田東海防衛支局長、柴橋正直岐阜市長、後藤友紀岐南町長】

陸上自衛隊の記念行事・政策広報（守山駐屯地）  
航空自衛隊の記念行事（笠取山分屯基地）

第10師団創立62周年及び守山駐屯地創設65周年記念行事

本年10月13日に、陸上自衛隊「第10師団創立62周年及び守山駐屯地創設65周年記念行事」（愛知県名古屋市）が開催されました。

会場では、観閲式を始めとして、第10偵察戦闘大隊による16式機動戦闘車の動的展示や第35普通科連隊によるヘリコプターからの特殊卸下訓練などが展示されました。また、16式機動戦闘車や93式近距離地对空誘導弾といった装備品の展示も行われました。

その他、装備品への体験試乗や豊川駐屯地隊員による三河陣太鼓なども行われ、当日は好天にも恵まれて、約9500人が来場しました。



【観閲式の様子】



【訓練展示の様子】（左：16式機動戦闘車の動的展示、右：特殊卸下訓練）



【装備品展示の様子】（16式機動戦闘車）



【訓練展示の様子】（偵察行動）



【三河陣太鼓の様子】

（写真提供：第10師団）

東海防衛支局の政策広報（第10師団及び守山駐屯地記念行事）

東海防衛支局では、防衛政策や自衛隊の活動などについて、広く国民の理解を得るため、様々な機会を捉えて政策広報を行っています。

10月13日に、守山駐屯地（愛知県名古屋市）で実施された「陸上自衛隊第10師団創立62周年・守山駐屯地創設65周年記念行事」において、当支局は広報ブースを設置し、令和6年版防衛白書の要点をまとめたパネル展示、「なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか」解説動画の上映、支局広報誌「ぼうえい」の配付などを行いました。

当日は、ブースを訪れた多くの方々にパネルや解説動画をご覧いただきながら説明を行ったほか、「防衛白書 電子書籍版」を二次元コードよりダウンロードされる方も見受けられました。

当支局では、今後も、自衛隊記念行事などにおいて、政策広報を行いますので、ご来場の際には是非お立ち寄りください。



【東海防衛支局政策広報ブースの様子】

笠取山分屯基地オープンベース

本年10月6日に、航空自衛隊「笠取山分屯基地オープンベース」（三重県津市）が開催されました。

会場では、小牧基地救難教育隊によるUH-60Jの救難展示、装備品の展示、中部航空音楽隊の演奏などが行われました。

また、リーダー施設を隊員が案内するリーダーバスツアーは募集早々に満員となるほど好評でした。当日朝は濃い霧が発生していたものの、約1600人が来場しました。



【装備品の展示】  
（地対空誘導弾パトリオット（PAC-3））



【中部航空音楽隊の演奏】



【UH-60Jの救難展示】

（写真提供：笠取山分屯基地）

令和6年度日米共同統合演習（Keen Sword 25）

日米共同統合演習の概要

自衛隊は、強固な日米同盟の下、日米の即応態勢及び相互運用性を向上させるため、令和6年10月23日から同年11月1日の間で日米共同統合演習（Keen Sword 25）を行いました。

同演習では、全国の自衛隊施設、在日米軍施設のほか、民間空港・港湾、離島、我が国周辺の海空域での実動訓練を通じ、日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、共同統合運用能力の維持・向上を図りました。

また、本演習には同志国であるオーストラリア軍、カナダ軍が参加するとともに、他の国々もオブザーバーとして招聘し連携強化に努めました。

東海防衛支局管内における活動

東海防衛支局の管内では、航空自衛隊小牧基地（愛知県小牧市）、同高蔵寺分屯基地（愛知県春日井市）、同笠取山分屯基地（三重県津市）において、陸上自衛隊と航空自衛隊による協同基地警備訓練を行ったほか、小牧基地に配備するC-130H輸送機、C-2輸送機、KC-767空中給油・輸送機が、各地の訓練空域等において、戦術空輸訓練、空中給油訓練を行ったところであり、当支局は、関係自治体に対し、訓練内容を説明するなど、本演習の円滑な実施に寄与しました。



【協同基地等警備訓練の様子】（写真提供：統合幕僚監部）

令和6年度能登半島大雨に係る災害派遣活動



【人命救助（捜索）】



【入浴支援】

（写真提供：春日井駐屯地／統合幕僚監部）



【物資輸送（生活支援）】

令和6年9月21日（土）に気象庁から石川県に大雨特別警報の発表があり、同日、石川県知事からの災害派遣要請を受けて、21日以降、防衛省・自衛隊は災害派遣活動を実施しています。陸上自衛隊春日井駐屯地の第10施設大隊は人命救助（捜索）等を、同駐屯地の第10後方支援連隊は入浴支援等を、また、陸上自衛隊明野駐屯地の第10飛行隊は物資輸送（生活支援）等を行いました。

令和6年度防衛関係費の概要

防衛力の抜本的強化は、国家防衛戦略や防衛力整備計画に基づき、①スタンド・オフ防衛能力、②統合防空ミサイル防衛能力、③無人アセット防衛能力、④領域横断作戦能力、⑤指揮統制・情報関連機能、⑥機動展開能力・国民保護、⑦持続性・強靱性の7つの分野を中心に、計画的に進めることとしています。令和6年度防衛関係費は、防衛力整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現に向け、必要かつ十分な予算を確保しました。

- 歳出ベースで7兆7,249億円を計上し、大きく増加した契約額を着実に執行するための予算を確保
- 契約ベースで9兆3,625億円を計上し、複数年度を要する装備品や自衛隊施設などの整備の早期着手を企図

詳細はこちらをチェック

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2024/pdf/R06020302.pdf>



歳出ベースとは？

装備品の取得や施設整備などの事業について、その年度に支払われる額の合計のことです。

契約ベースとは？

装備品の取得や施設整備などの事業について、その年度に結ぶ契約額の合計のことです。

7つの分野と東海3県の地元企業が関わる装備品の一例

(写真：防衛省HP等より)

① スタンド・オフ防衛能力

・攻撃されない安全な距離から相手部隊に対処する能力を強化



12式地对艦誘導弾能力向上型 (試作品)

② 統合防空ミサイル防衛能力

・ミサイルなどの多様化・複雑化する空からの脅威に対応するための能力を強化



パトリオットPAC-3MSE

③ 無人アセット防衛能力

・無人装備による情報収集や戦闘支援などの能力を強化

④ 領域横断作戦能力

・全ての能力を融合させて戦うために必要となる宇宙・サイバー・電磁波、陸・海・空の能力を強化



哨戒ヘリ (SH-60L)



戦闘機 (F-35A)

⑤ 指揮統制・情報関連機能

・迅速かつ確に意思決定を行うため、指揮統制・情報関連機能を強化



電波情報収集機 (RC-2)

⑥ 機動展開能力・国民保護

・必要な部隊を迅速に機動・展開するため、海上・航空輸送力を強化  
・これらの能力を活用し、国民保護を実施



輸送ヘリ (CH-47JA)

⑦ 持続性・強靱性

・必要十分な弾薬・誘導弾・燃料を早期に整備  
・装備品の部品取得や修理、施設の強靱化にかかる経費を確保



非可動機の解消 (イメージ)



輸送機 (C-130H)



輸送機 (C-2)

## 岐阜飛行場周辺防音事業

### 犬山市立上木子ども未来園（機能復旧工事）

#### 防音事業の概要

防衛省では、自衛隊などの航空機による離着陸などの実施により生ずる音響による障害を緩和するため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条2項の規定に基づき、地方公共団体などが、航空機騒音を防止又は軽減するために行う学校や幼稚園、保育所などの防音工事に対し、補助金を交付しています。

また、防音工事実施後15年以上経過した施設のうち、工事の際に設置した冷暖房機器などの空調設備の機能が著しく低下した施設において、その取替工事を行う場合には、機能復旧工事として補助金を交付しています。

#### 犬山市立上木子ども未来園（機能復旧工事）

愛知県犬山市立上木子ども未来園では、平成7年度に空調設備の機能復旧工事を実施しましたが、工事後26年が経過し、冷暖房機器などの能力の低下が顕著となり、修理・修繕が必要となってきたため、令和4年度から令和5年度にかけて、再び機能復旧工事を実施することとなり、東海防衛支局において当該工事に対し補助金を交付しました。

今般、機能復旧工事を行ったことにより、昨今の厳しい暑さの中でも快適な保育環境の維持が可能となり、園児の熱中症などの予防にも寄与しています。

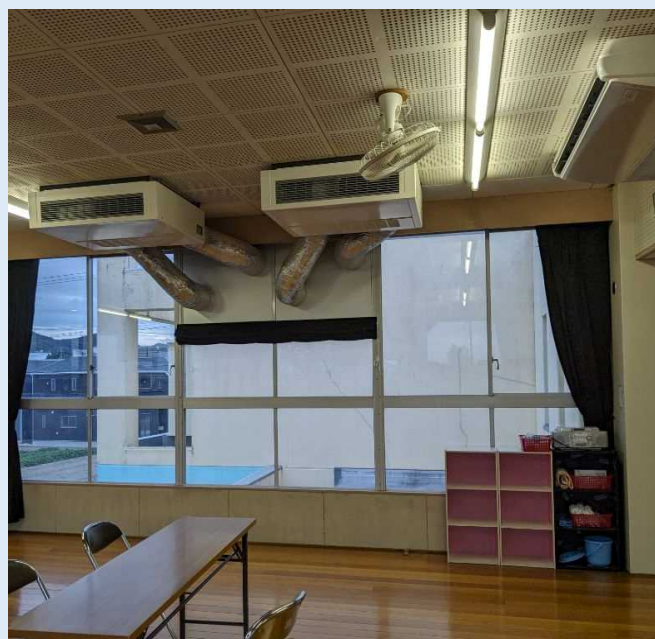
#### 上木子ども未来園の先生の声

今回の機能復旧工事で個別空調となったことから、各部屋ごとで温度調整が可能となり、快適な環境の中で保育活動ができ、園児たちも元気に過ごしています。



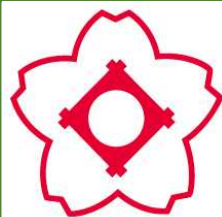
【上木子ども未来園（写真提供：犬山市）】

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為又は防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を防止又は軽減するための事業です。



【左：保育室、右：遊戯室（写真提供：犬山市）】

「愛三岐の  
まちから」



# 愛知県 春日井市

かすがい



道風くん



いしくろ なおき  
石黒 直樹 春日井市長

「人生100年時代  
いきがいくりで  
笑顔あふれる元気なまちへ」

春日井市は、30万人の人口を擁する中部圏の都市です。市の東西を国道19号とJR中央本線が、市の中央を東名高速が通り、市西部には県営名古屋空港があるなど、交通の要衝でもあります。

この地の歴史は古く、市内には約90基の古墳があるとされています。中でも、市西部の市内最大規模を誇る味美二子山古墳の周辺は公園として整備され、地域の憩いの場になっています。一方、平安時代の延喜式神名帳にもその名が記され日本武尊の伝説が残る市東部の内々神社には、四季折々の美しさを見せてくれる庭園があります。

また、本市は豊かな自然にも恵まれています。岐阜県境の市東部にある市内最高峰の弥勒山をはじめとする山々は近年、「春日井三山」と呼ばれるようになり、登山やハイキングを楽しむ皆さんで賑わっています。落合公園に隣接する施設であるグリーンパレス春日井には、令和4年2月に、季節や天候に関わらず乳児から小学生までが遊べる屋内施設「ぐりんぐりん」をオープンいたしました。この施設は、年齢区分に応じた4つのエリアで遊ぶことができます。



【ぐりんぐりん（子ども屋内遊び場）】



【消防署新庁舎】

近年、自然災害の脅威が増す中、災害対応力向上と危機管理体制の強化が重要課題となっており、大規模災害時に消防・防災の拠点となる機能を有する消防署新庁舎の運用を令和6年4月1日に開始しました。新庁舎は、各種災害に対応できるように、訓練施設を整備するとともに、自家用給油取扱所や自家発電設備を備えております。また、防災学習コーナーでは、見て・体験して・学ぶことで、防災意識を高めていただける施設となっております。

## 自衛隊との関わり

本市では、市民の皆様の安全安心のため、防災関係機関との相互協力体制の確立や、防災意識の向上に取り組んでいます。本市には陸上自衛隊春日井駐屯地及び航空自衛隊高蔵寺分屯基地があり、航空自衛隊小牧基地にも隣接しております。隊員の皆様には、水防訓練や総合防災訓練、近年、頻発する自然災害に対応するため、災害訓練にご協力いただいています。また、市の各町内で開催される祭りなどにもご参加いただいております。地域との交流も盛んに行われています。



【令和6年度春日井市総合防災訓練】

## 採用関連のご案内（国家公務員採用一般職試験）

東海防衛支局では、防衛省職員の採用説明会の開催や、人事院主催の国家公務員セミナーに参加をしています。

国家公務員志望で防衛省に興味のある方は、是非ご参加ください。

参加には事前申込みが必要となる場合がありますので、詳しくは東海防衛支局又は防衛省のホームページをご確認ください。



【国家行政・官庁ツアーの様子】

### 今後の予定

令和7年1月25日（土）：人事院主催東海公務員セミナー参加予定（場所：名古屋市）

令和7年2月1日（土）：人事院主催北陸公務員セミナー参加予定（場所：金沢市）

令和7年2月中旬：国家行政・官庁ツアー（場所：東海防衛支局（名古屋市））

※人事院主催のセミナーについては、人事院のホームページをご覧ください。

東海防衛支局ホームページ「採用情報」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/recruit/>

お問い合わせ先：東海防衛支局 総務課 052-952-8221



## 自衛隊総合採用案内

### 【掲載内容】

- 「やっぱり、バリバリ体育会系ばかり…?」、「仕事は肉体系ばかり…?」といった誤解に答えます!
- 「自衛官になったきっかけは?」、「どんなときにやりがいを感じる?」など自衛官として働くみなさんに聞きました
- 自衛隊の主な職種・職域
- 自衛官の仕事図鑑
- 活躍する女性自衛官
- 産休・育休などの7つの働き方改革
- 処遇や福利厚生 など

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/details/pamphlet/r6sougouannai.pdf>



## 新着任者紹介（令和6年9月2日付）



岐阜防衛事務所長  
1等空佐 岡本 英樹

令和6年9月2日付けで岐阜防衛事務所長を拝命した岡本1等空佐です。

岐阜県内で製造請負等の契約を履行する会社の調達品及びこれに関する役務に係る監督・検査、原価監査並びに秘密及び保護すべき情報の保全について、全所員とともに、的確に実施していきますので、よろしくお願いたします。

### 【発行】

東海防衛支局広報誌編集委員会

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1

名古屋合同庁舎第1号館

(電話) 052-952-8212

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

2024年(令和6年)冬号

(通巻第61号)

